



「岡山大学くらしき会」会誌5号

平成25年4月発行

農業生物研究所・資源生物科学研究所・資源植物科学研究所

本号では、岡山大学くらしき会からのお知らせと、岡山大学資源植物科学研究所の最新のニュース&トピックスを会員の皆様にお届けします。

岡山大学くらしき会からのお知らせ

くらしき会幹事会（第8回総会）のご案内

場所：岡山大学資源植物科学研究所（大会議室）

日時：平成25年6月8日（土）15時～

行事

1. 幹事会（総会）（15:00-15:30）

2. 研究所紹介DVD上映会（15:30-16:00）

3. 懇親会（16:00-18:00）

懇親会費 2000円（振込締め切り：5/28火まで）

植物研は2014年に100周年を迎えます！

（2014年10月上旬に記念式典の開催予定）

100周年を祝い、さらに未来に繋げていく決意を示す事業を多数計画しています。ご期待下さい。なお、これらの事業をご支援頂くためのご寄付を宜しくお願ひ致します。

■ 倉敷ゲストハウスがオープンしました

2012年7月26日に倉敷ゲストハウスの開所式が執り行われました。大原謙一郎（財）大原獎農会理事長、伊東香織 倉敷市長から御祝辞を頂きました。



（開所式の一幕）

倉敷ゲストハウスは、岡山大学に教育・研究目的等で来学される方が利用できる宿泊施設です。学外の方のご宿泊は、本学教職員を通じてお申し込み下さい。
<http://www.rib.okayama-u.ac.jp/collaboration/guesthouse.html>



（旧木造官舎跡に開設されたゲストハウスの外観）

■ くらしき会第7回総会のご報告



（蜂谷会長）



（受付担当の現役院生の皆さん）

平成23年2月19日15時より倉敷アイビースクエア（コーラル）で開催されました。第6期（2009年1月～2010年12月）の事業、会計報告の後、第7期（2011年1月～2012年12月）の事業計画および予算案の説明があり、いずれも承認されました。蜂谷会長の挨拶に続き、所長の村田稔先生から研究所の現状を紹介いただきました。総会では、新会長に前田俊英氏（S49）、副会長に小川道博氏（S52）、会計監査に中桐基晴氏（S52、再任）、岡村秀雄氏（S58）が選出されました。引き続き、杭田要氏（財少林寺拳法連盟中国室 室長 櫛京阪神グリーン 顧問）による講演『倉敷、そして私の歩んだ道』が行われました。講演後、同ホテルアイボリーの間に会場を移し、懇親会が和やかに開かれました。



（杭田氏の講演風景）



（懇親会の一コマ）

くらしき会からのお願い

正会員の皆様には会費納入のための振替用紙を同封いたしましたので2013年、2014年度分2,000円の送金をお願いいたします。特別会員（旧事務系職員・旧技術系職員）の皆様は、同窓会の年会費は不要です。

また、住所・勤務先等の変更がありましたら事務局へハガキあるいは下記のメールでお知らせください。

E-mail: kurashiki1999@server.rib.okayama-u.ac.jp

■岡山大学くらしき会のこれまでの主な活動

同窓会では隔年で総会・講演会を開催しています。また、所内の大学院生で組織されている院生会活動への援助なども行っています。



◇同窓会設立・記念講演会

1999年1月16日（於 倉敷市民会館）

◇岡山大学くらしき会会誌1号(会員名簿)発行

2000年3月

◇第2回総会

2001年2月24日（於 倉敷国際ホテル）

◇第3回総会・講演会

2003年3月15日（於 ホテル倉敷）

◇第4回総会・講演会（研究所90周年）

2004年12月17日（於 倉敷市立美術館）

◇岡山大学くらしき会会誌2号発行

2007年1月

◇第5回総会・講演会

2007年2月24日（於資源生物科学研究所・大会議室）

◇岡山大学くらしき会ホームページ立ち上げ

2007年3月

◇岡山大学くらしき会会誌3号発行

2009年1月

◇第6回総会・講演会

2009年2月28日（於資源生物科学研究所・大会議室）

◇第7回総会・講演会

2011年2月19日（於 アイビースクエア）

■ 研究所の近況と大学院生

植物研には、植物ストレス科学共同研究ニア、次世代作物共同研究コアと大麦・野生植物資源研究センターのもと5つの研究ユニット(4項目スタッフリストをご参照下さい)が設置され、約100名の研究者・事務職員と、21名(平成24年度)の大学院生・留学生が所属しています。

植物研の大学院は平成24年4月より、従来の環境学研究科に自然科学研究科の農学系を統合したことにより、環境生命科学研究科農生命科学専攻(博士後期課程)、生物資源科学専攻(博士前期課程)に属しています。

博士前期課程には、岡山大学以外の中国四国地方の大学出身者が大部分を占めています。博士後期課程の学生は中国やタイ、ケニアなどからの留学生も在籍しています。



(ガリス教授による特別講義の一コマ)



2013年1月7日(新年互礼会時の集合写真)

■研究所所長のご紹介



研究所の前所長に村田稔先生の任期満了に伴い、山本洋子先生が新所長に就任されました(平成24年4月)。山本先生は植物生理学がご専門で、植物成長制御Gのグループリーダーとしてもご活躍されておられます。

■ 前田俊英氏が新会長のご紹介

第6回くらしき会総会において、第7期会長に前田俊英氏(S49修了)が選出されました。前田会長は、旧害虫学研究室のご出身です。



■ 研究所のイベント情報

植物研では、地域社会へ貢献するため、一般公開、公開講座などの活動を行っています。くらしき会会員の皆様も是非ご参加下さい。

研究所公開



研究所の一般公開は、毎回多数(400名程度)の市民に参加いただき、好評です。お近くの方は、次回(5月11日土曜日)も誘い合わせの上ご参加ください。

公開講座

平成23年度は「地球環境と食糧生産」、24年は「ウイルス-摩訶不思議な不完全生命体-」が開講されました。

高校生教育プログラム

岡山県内の高校生向けに高校生実験体験プログラム「体験しよう植物サイエンス最先端」を、平成23、24年度と開講しました。24年度は31人の高校生たちが4つの実験コースに分かれて実験を体験しました。



シンポジウム

資源植物科学シンポジウムは第27回「植物ストレス科学的研究と遺伝資源」、第28回「東アフリカにおける作物生産と植物ストレス科学イノベーション」と題して所内プロジェクトと共に開催されました。第29回(第5回植物ストレス科学的研究シンポジウム)は平成25年3月7~8日開催されます。



図書館分館企画展

附属図書館植物研分館では企画展を定期的開催しています。平成23年度は、「四季の花木(貴重書で見る東西の植物画 第二弾)」、「咲き誇る花々(貴重書で見る東西の植物画一・二年草編)」、平成24年度は、「おいしいしょくぶつ」、「癒し」と植物を開催いたしました。



(企画展「おいしいしょくぶつ」より)

植物研ゆかりの偉人たち

研究所では「植物研ゆかりの偉人たち」と題した企画が進められています。日本の農業科学の基礎を作った先人たちの偉業を是非ご覧ください。現在、種子学を確立した初代所長近藤萬太郎博士、オオムギの種子保存に尽力した高橋隆平博士、ケイ素の有益効果を世界で初めて発見した小野寺伊勢之助博士、イネ研究の第一人者岡彦一博士の記事を下記サイトでご覧頂けます。

<http://www.rib.okayama-u.ac.jp/profile/ijinden.html>

連載 植物研ゆかりの偉人たち

日本の種子学を確立した
近藤 萬太郎



社会貢献

「倉敷自然史博物館祭り」や「倉敷市農業祭」などに展示し、研究所の活動を市民へ紹介しています。また、倉敷市内の中学生職場体験への協力も行っています。さらに、毎年4月に倉敷市内の保育園、幼稚園、小学校の子どもたちを招待して、レンゲ摘み取り体験を行っています。



■ 研究所の研究プロジェクト・国際交流

共同利用・共同研究拠点事業

2010年4月より「植物遺伝資源・ストレス科学的研究」の共同利用・共同研究拠点となり、公募型の共同研究を開始しました。当研究所は、全国でも唯一の農学に関する大学附置研究所として、各種の大型設備・施設により、資源植物の環境適応機構の解析と応用に関する研究プロジェクトを行っています。研究に使われる大型機器は、所内の共通機器として技術職員が中心に機器の管理を行い、所内の研究者に限らず、大学内外の研究者とも共同研究に利用され、様々な研究成果があげられています。



(植物研が誇る最新鋭の研究機器)

さらに、本拠点では、「植物による東日本大震災被災農地の修復」、「植物ミトコンドリア研究の新展開」、「Agilentマイクロアレイ基盤の整備とマイクロアレイ実験の展望(2)」、「植物ホルモンとイオン輸送体の相互理解」などのシンポジウムやワークショップを開催しています。

また、平成22年度「低炭素社会実現に向けた植物科学的研究のための基盤整備」により理化学研究所を中心に立ち上げられ「植物科学最先端研究拠点ネットワーク」に参画し、植物科学の研究者コミュニティを支援しています。

アジア・アフリカ学術基盤形成事業

植物研ではアジア・アフリカ学術基盤形成事業「東アフリカにおける作物ストレス科学的研究ネットワーク拠点形成と次世代作物の開発利用」を進めています。ケニアのジョモケニアッタ農工大学、ケニア農業研究所から研究者を招聘、あるいは植物研の研究者がケニアを訪問し交流会を行っています。詳しくは下記HPをご覧下さい。
<http://www.rib.okayama-u.ac.jp/pssnet/international/kenya/index-j.html>



(2012年のケニア訪問の一コマ)

■ 植物研ホームページがリニューアル

研究所の成果やプレスリリースなどリアルタイムでご覧頂けます。また、大学院募集、研究スタッフ紹介やリソースに関する情報も充実しアクセスしやすくなりました。さらに、この改訂では英語版も大幅に拡充されています。是非、ご覧ください。



HP: <http://www.rib.okayama-u.ac.jp>



公式 Facebook もご利用下さい。

同窓会のホームページを公開しています

くらしき会の情報だけでなく、会員のページや関連する写真のページもご覧頂けます。是非アクセスしてください。皆様からの情報提供をお待ちしております。

HP: <http://www.rib.okayama-u.ac.jp/kurashiki/>

■ 院生会の紹介

研究所は学生数がそれほど多くないため各研究室の学生同士の交流が活発です。院生会は、本研究所で研究している大学院生が主体となって活動している組織です。最近では、院生会が修士論文の中間発表会を主催して、毎回活発な討論がなされています。

■ 現在の研究所教員・技術系職員リスト

(2013年3月10現在・敬称略)

植物ストレス科学共同研究コア

大気環境ストレスユニット

光環境適応研究グループ

(坂本 亘 教授・松島 良 助教)

細胞分子生化学グループ

(今野 晴義 准教授・杉本 学 准教授)

環境応答機構研究グループ

(平山 隆志 教授・森 泉 助教)

土壤環境ストレスユニット

植物ストレス学グループ

(馬 建鋒 教授・山地 直樹 助教)

植物成長制御グループ

(山本 洋子 教授・佐々木 孝行 助教)

分子生理機能解析グループ

(且原 真木 准教授・柴坂 三根夫 助教)

環境生物ストレスユニット

植物・微生物相互作用グループ

(鈴木 信弘 教授・近藤 秀樹 助教・谷 明生 助教)

植物・昆虫相互作用グループ

(ガリス イバン 教授・園田 昌司 准教授・新屋 友規 助教)

大麦/野生植物資源研究センター

遺伝資源ストレスユニット

ゲノム多様性グループ

(佐藤 和広 教授・吉田 英哉 助教・最相 大輔 助教・久野 裕 助教)

遺伝資源機能解析グループ

(武田 真 教授)

野生植物グループ

(山下 純 助教)

ゲノム育種ユニット

核機能分子解析グループ

(村田 稔 教授・長岐 清孝 准教授・小倉 豊 助手)

ゲノム制御グループ

(前川 雅彦 教授・江崎 文一 准教授・力石 和英

助教・宇都木 繁子 助教)

次世代作物共同研究コア

萌芽的・学際的新展開グループ

(植木 尚子 助教)

国際的新展開グループ

(坂本 亘 教授 (グループ長、兼任))

技術部

技術職員

(力石 早苗 班長・石井 誠・丸山 和之・松浦 恭和・柏原 壱成・西村 秀希・山下 優子・高見 常明・土屋 善幸)

事務部

(徳山 久丈 事務長・若田 裕史 主査・岩崎 哲也 主査・別府 さちよ 主査・河合 雅臣 事務職員・藤原 智孝 図書係員)

■ 教員・技術系職員の動向 (23~24年度)

退職: 生命環境適応グループの田中丸重美先生、野生植物グループの榎本 敬先生、遺伝資源機能解析グループの漆川直希先生がご退職されました。また、技術部の泉洋平さん(現:島根大学生物資源科学部助教)・加藤裕介さん(現:植物研・特別契約職員(助教))もそれぞれ退職されました。今後の更なるご活躍を祈念いたします。

着任: 植物・昆虫相互作用グループにイバン・ガリス先生、新屋友規先生、ゲノム多様性グループに久野 裕先生、萌芽的・学際的新展開グループに植木尚子先生がご着任されました。また、技術部の新メンバーとして高見常明さん、土屋善幸さんが加わりました。

岡大では、卒業生や退職職員の皆様に、Gmailアドレス(生涯メールアドレス)サービスを提供しています。ご興味のある方は、以下のサイトをご覗ください。

http://www.citm.okayama-u.ac.jp/citm/service/gmail_home.html

(写真の一部は研究所HPより転載させていただきました)

「岡山大学くらしき会」

会報 第5号

平成25年4月発行



岡山大学くらしき会

発行所

岡山大学くらしき会

岡山大学資源植物科学研究所内

〒710-0046 倉敷市中央2-20-1

tel.086-424-1661/ fax.086-434-1249

郵便振替 01350-5-16121

印 刷 図書館カラーコピー